

涉成園（枳殻邸）とは？

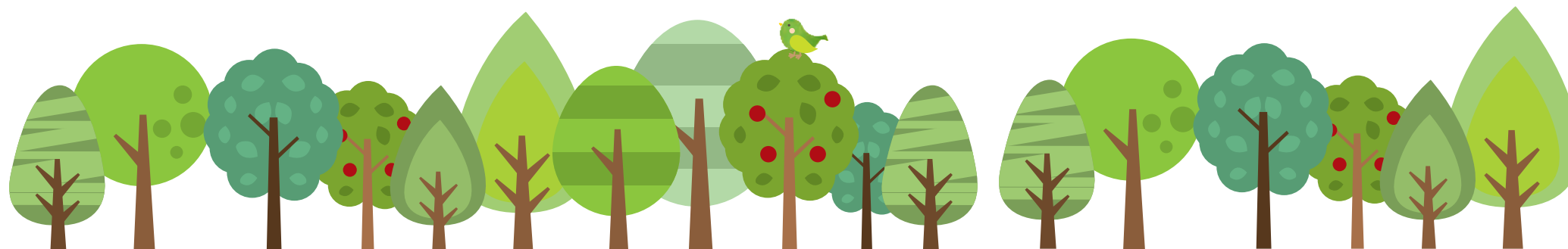
真宗本廟（東本願寺）の
飛地境内地（とびちけいだいち）です。

江戸幕府 三代将軍 徳川家光から、
東本願寺 第十三代・宣如上人に
寄進されました。
せんによ

石川丈山によって
作庭されたと伝えられる、
国指定の名勝庭園です。



Google Earth Pro より引用



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

名勝庭園とは？



六條枳殻亭庭前之図 明治21年(1888)頃

日本に暮らす人々がそれぞれの土地に紡いできた思いを、名所や風景、庭園に継いでいくのが名勝です。

文化庁「名勝とは」(2020-11-6) <https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/meishou/>



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

なぜ枳殻邸（きこくてい）？

涉成園の周りを取り囲むように
枳殻（カラタチ）が生えていたからです。

「枳殻」は音読みで
「キコク」と読みます。

現在でも、高石垣の
周辺などでカラタチを
見ることができます。



トゲに注意！

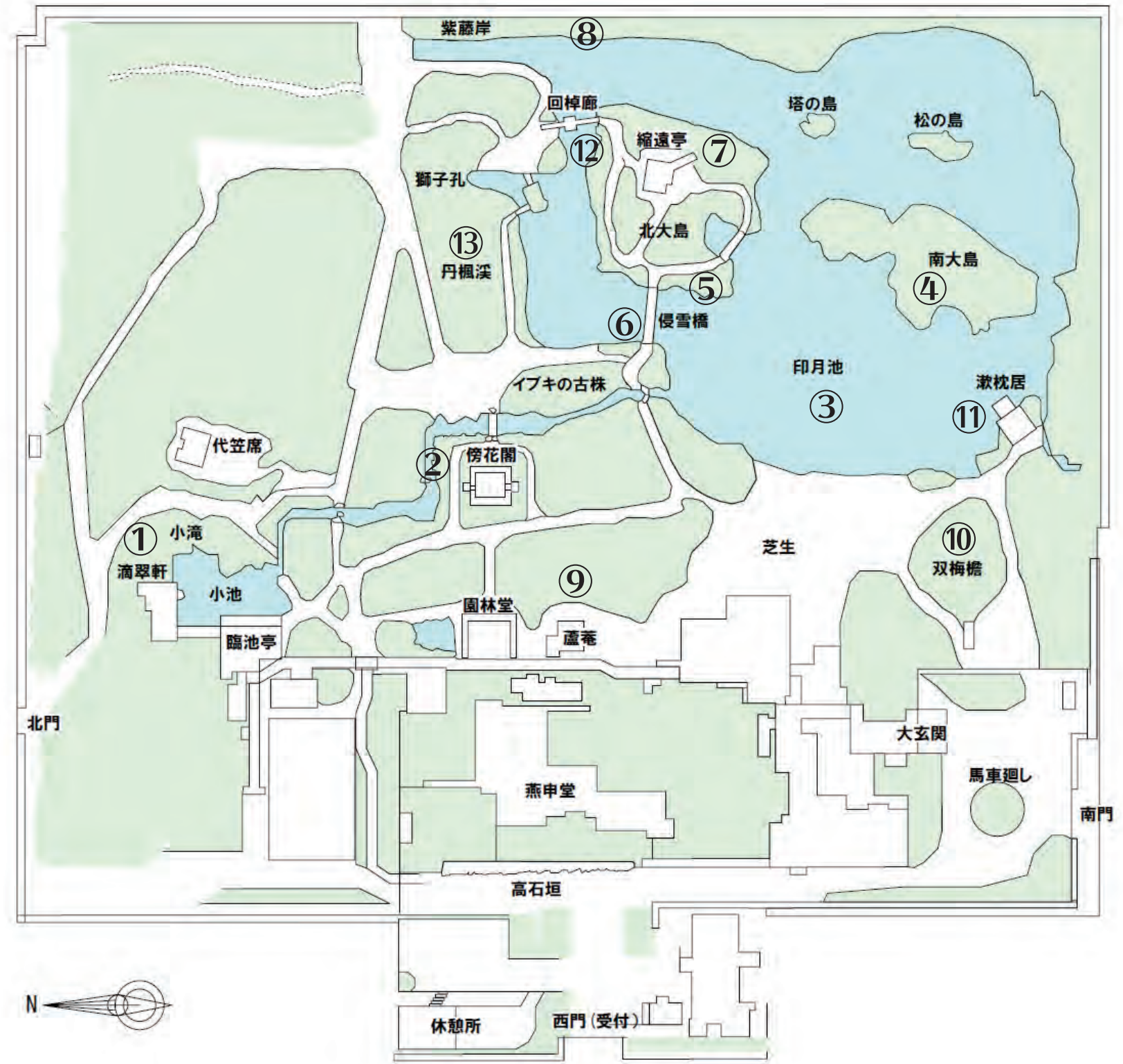


植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

涉成園十三景とは？

江戸時代後期、
らいさんよう
頼山陽という有名な学者が
涉成園を訪れました。

園内を周り、
「涉成園記」の中で、
特に景色の良い場所を
「涉成園十三景」として
紹介しています。



昔の絵に描かれた渉成園



1911 明治 44『日本名園図譜』 から、その1「東本願寺渉成園平面圖」



1909 明治 42『風俗画報 大日本名所図会 72 京都名所図会 巻 05 洛中の下』
から、その1「画の園庭殿穀枳」

渉成園が描かれた作品です。

ぜひ現在の景色と

比べてみてください。



1799 寛政 11『都林泉名勝図会』



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

昔の写真に見る渉成園

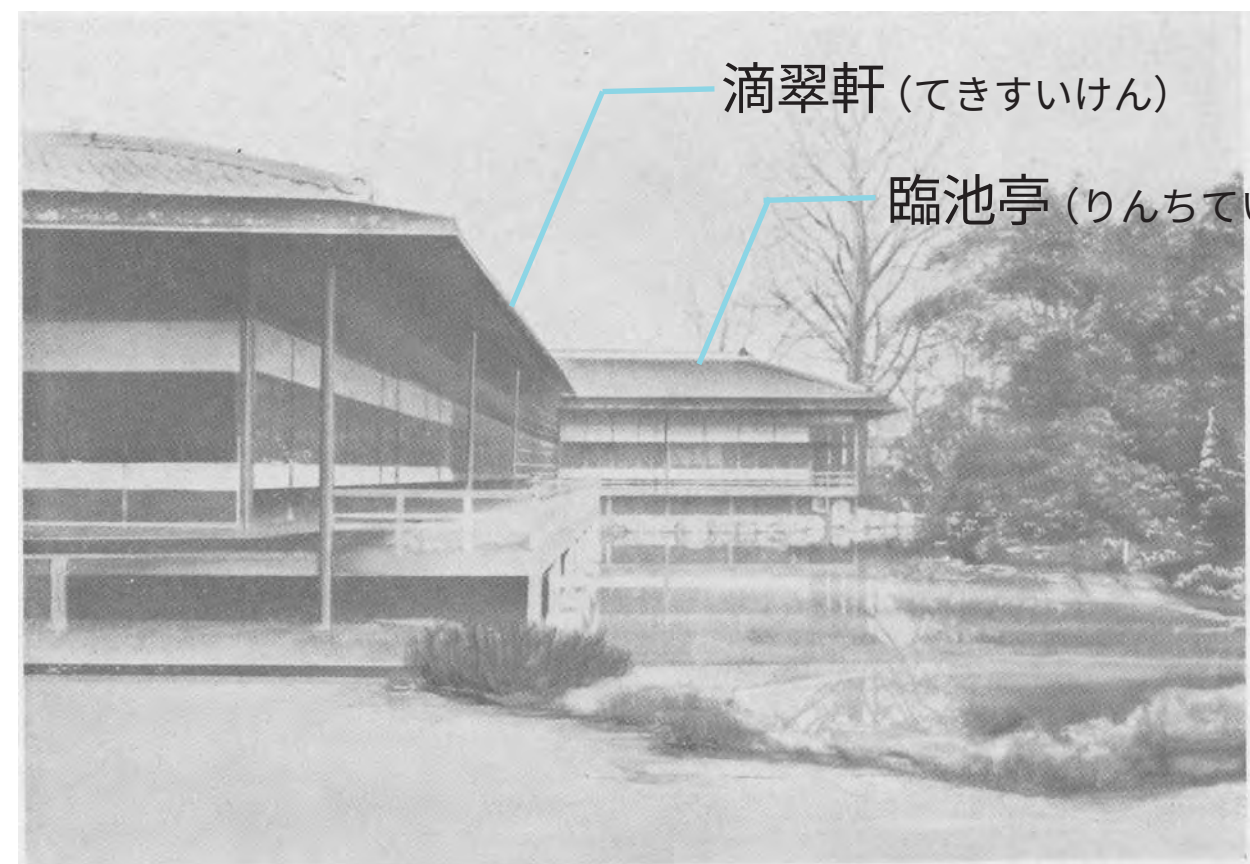


双梅檐 (そうばいえん)

1928 昭和 03『京郊名勝』 から



1915 大正 04『新撰京都名勝誌』 から、「大谷派本願寺渉成園 (枳穀邸)」



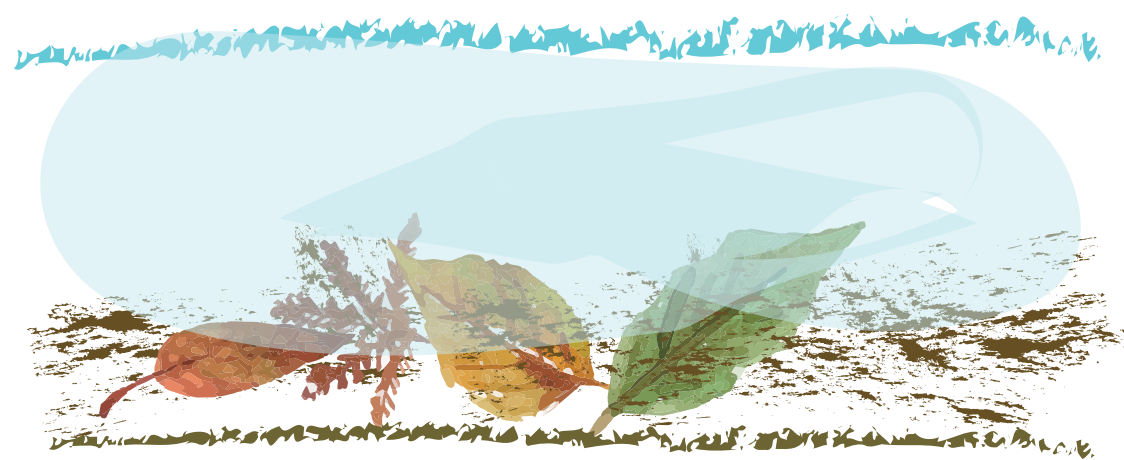
1934 昭和 09『日本建築図観』 から、「圖九十三百二第」



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

浚渫（しゅんせつ）工事とは？

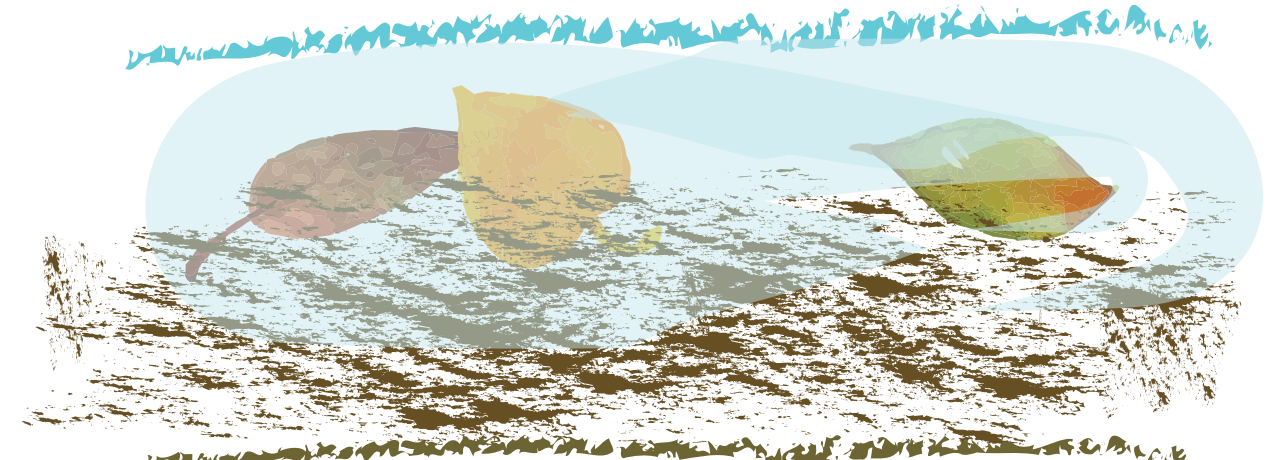
- ①池に降った落葉や流れてきた泥が、
長い時間をかけて、池の底にたまります。



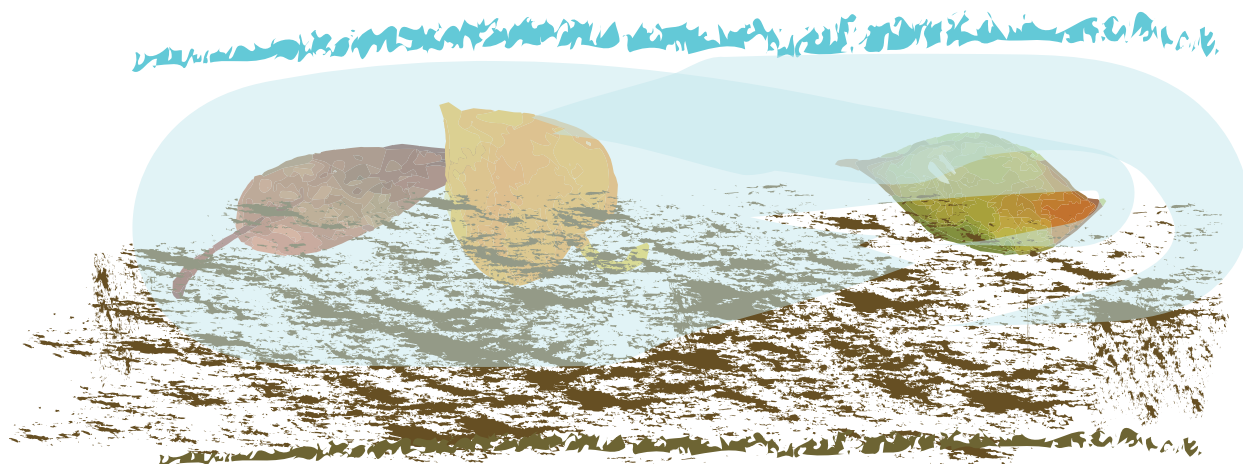
水面



池底



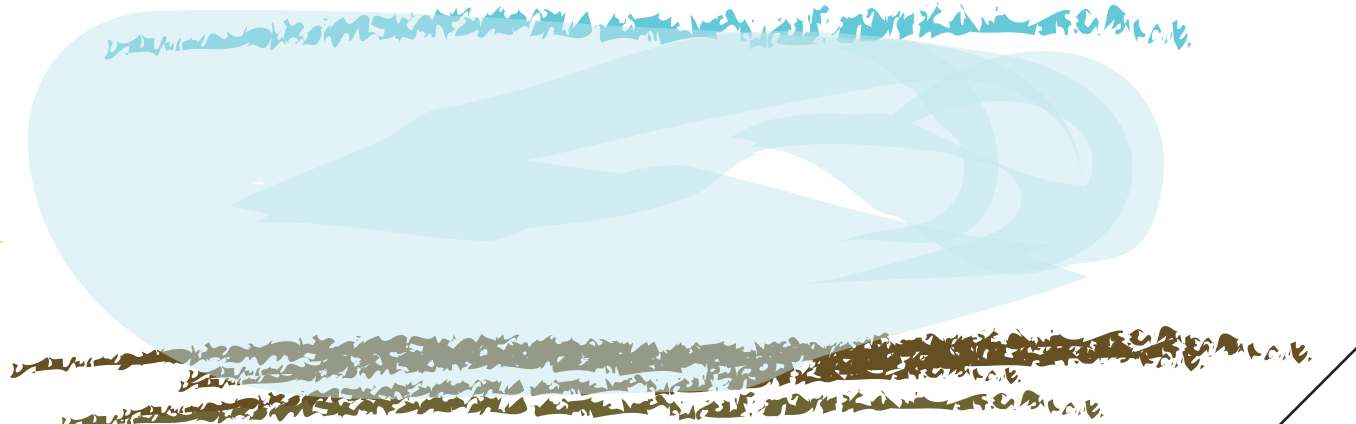
- ②泥がたまり続けると、池はどんどん浅くなります。
たまった泥を取り除く工事を、浚渫といいます。



水面



池底



むかしの工事記録 昭和 51(1976) 年度



池の底に
泥がたまります。

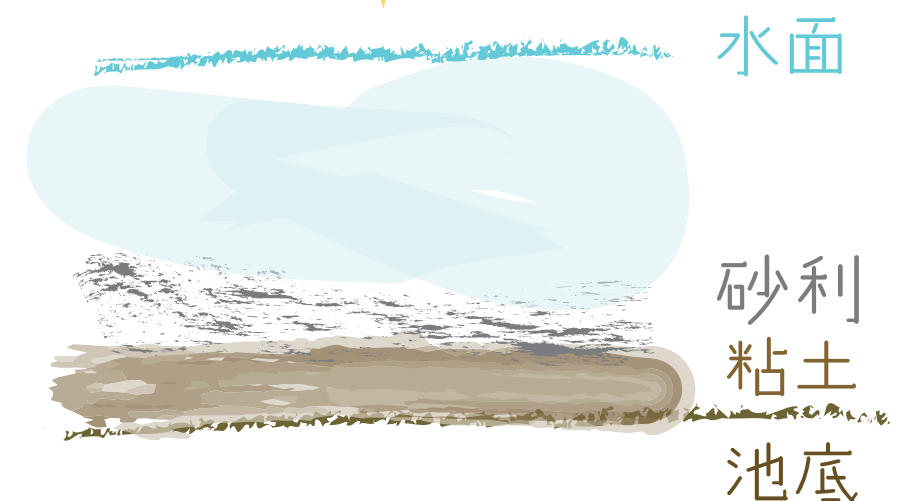
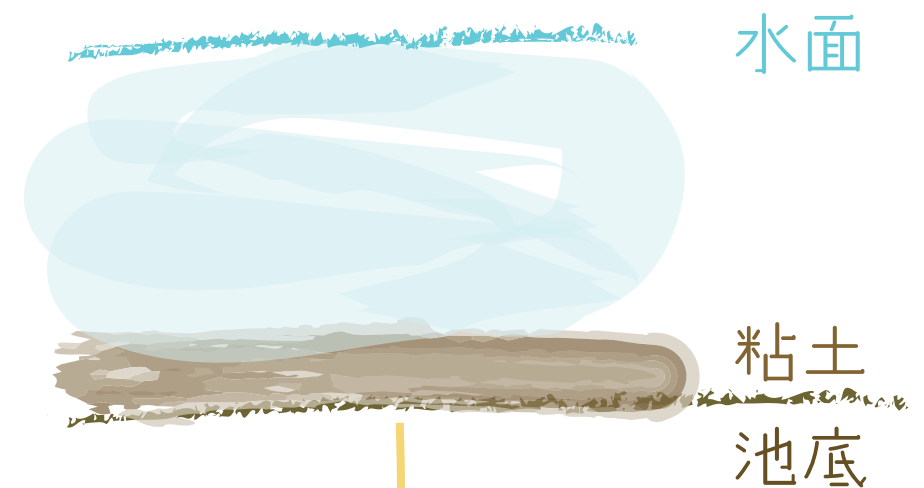
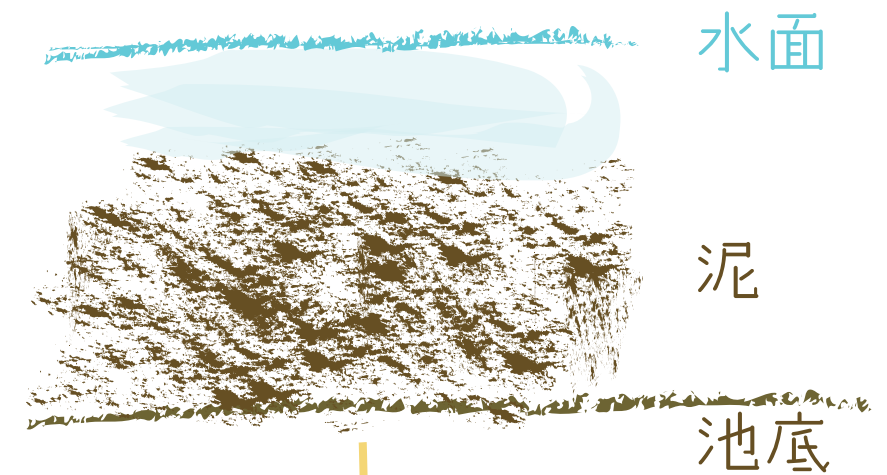
泥を除去して.....



水が
漏れないよう、
粘土を敷きます。



粘土を守るため、
砂利を敷きます。



これまでの工事記録

①大きな木を切る工事

平成 28（2016）年、
南大島のかたちを
見せるために、
4 本の大きな木を
切りました。

島のかたちが
よく見えるよう
になりました！



工事前



工事後



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

これまでの工事記録

②傾いた石を戻す修理

南大島にあった大きな石が
傾いてしまいました。
古い写真を見ながら
元の場所に戻す工事を
行いました。



工事前



石を元の場所に戻す作業



工事後



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

これまでの工事記録

平成 30（2018）年 9 月の台風で、
フウノキが倒れてしまいました。

他にもたくさんの木が倒れたり、
枝が折れたりしました。
その後、1 年かけてお庭を整えました。

③災害復旧



台風前の景色（2015 年）



倒れたフウノキ（2018 年 9 月 5 日）

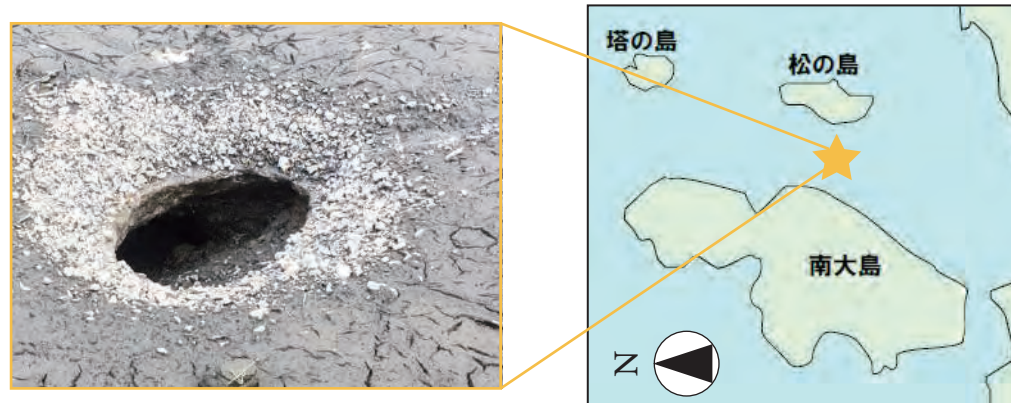


現在の様子（2020 年 11 月 6 日現在）



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

流木が伝える むかしの渉成園の様子



穴の位置

昨年度、池の底に大きな穴が空き、中からおよそ 800 年前の流木が見つかりました。

このことは、かつての渉成園が洪水を繰り返す鴨川の河川敷であったことを物語っています。



穴の断面図

流木



穴の底に埋まっていた流木



流木を取り出す様子

太さは 53 c m でした



輪切りにした流木



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

今の工事のみどころ（北大島）



水あり

元の水位



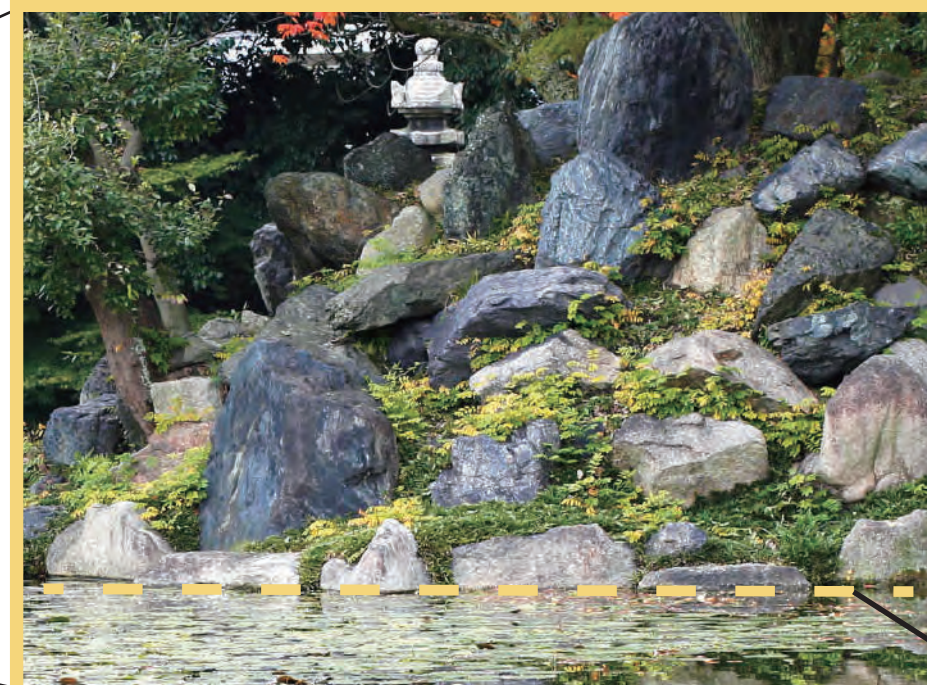
水なし

水がないので
護岸の石がよく
見えます！



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

今の工事のみどころ（南大島）



水あり

元の水位



水なし



以前に水を抜いたのは 44 年前。
今しか見られない景色です！



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

渉成園の生きもの

園内には様々な環境がパッチ状に存在しており、多種多様な生き物の生活の場となっています。

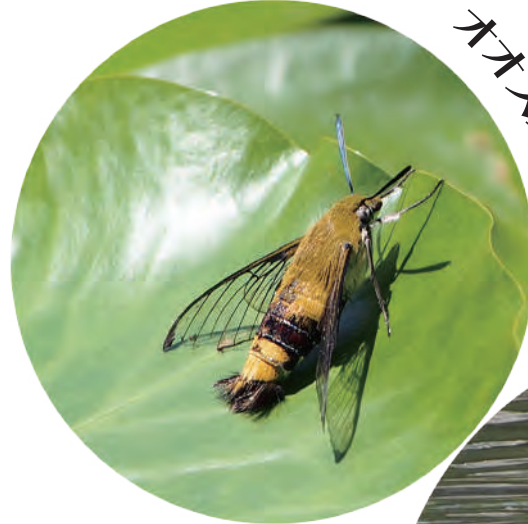
キムネクマバチ



メジロ



オオスカシバ



ナミアゲハ



スッポン



マガモ



ヤマトシジミ



クロアゲハ



アオサギ



アオモンイトトンボ



トモンハナバチ



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

渉成園の植物

春



ニガナ



ウツギ



モチツツジ



サクラ



シャクナゲ



カキツバタ

夏



スイレン



ホオノキ



サルスベリ



クチナシ



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

渉成園の植物

秋

冬



キンモクセイ



キキョウ



イチョウ



ツバキ



ウナ



チャノキ



イロハモミジ



サザンカ



アセビ

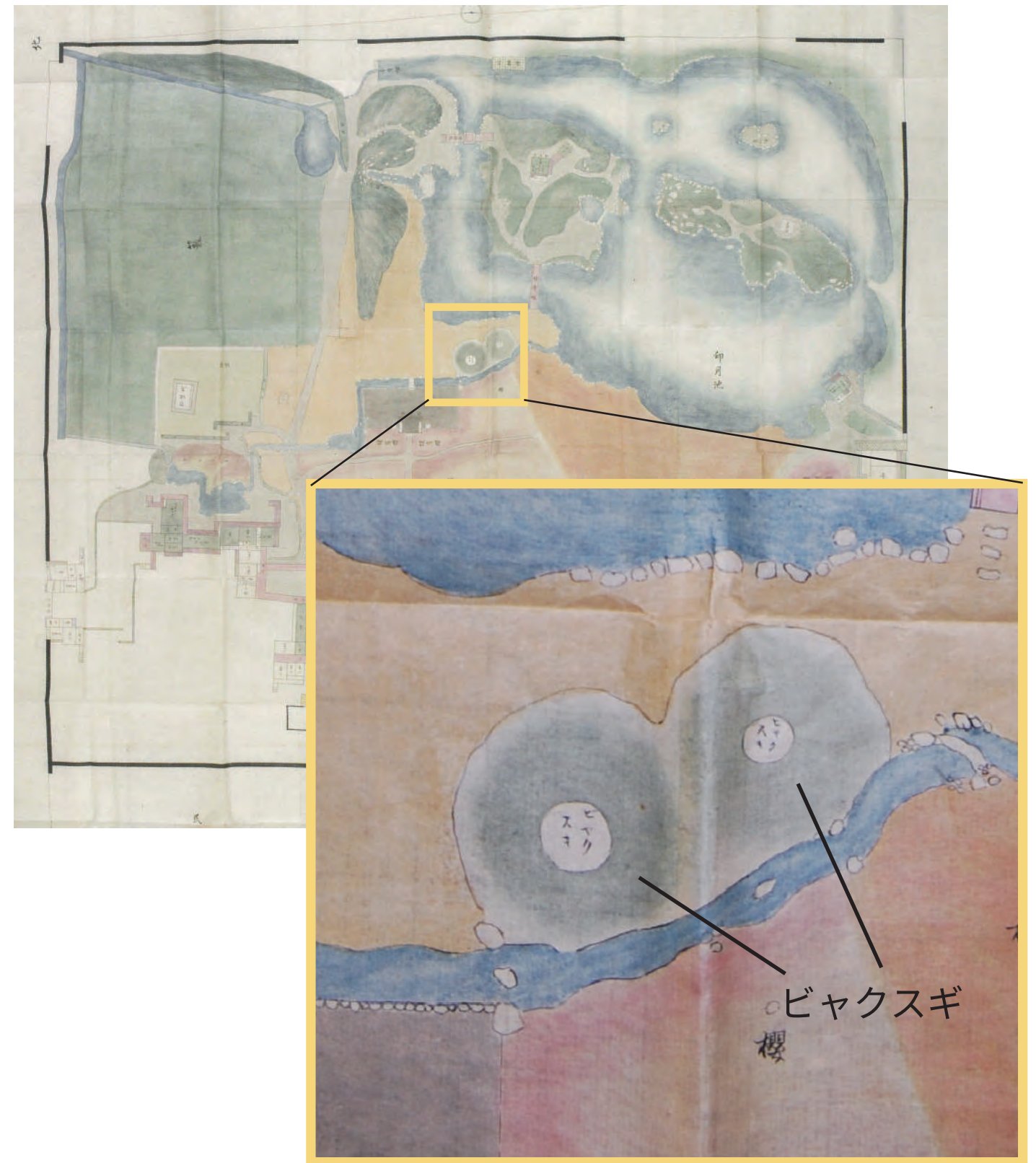


植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

ビャクシンの木について

侵雪橋の近くには
ビャクシン（別名：イブキ）の
枯木が2本立っています。

1858 年以降の資料に
ビャクスギという名前で
登場し、85 年ほど前に
枯れたそうですが、
今も美しい姿を見せて
くれます。



安政度枳殻邸総図（安政5年・1858年以降）



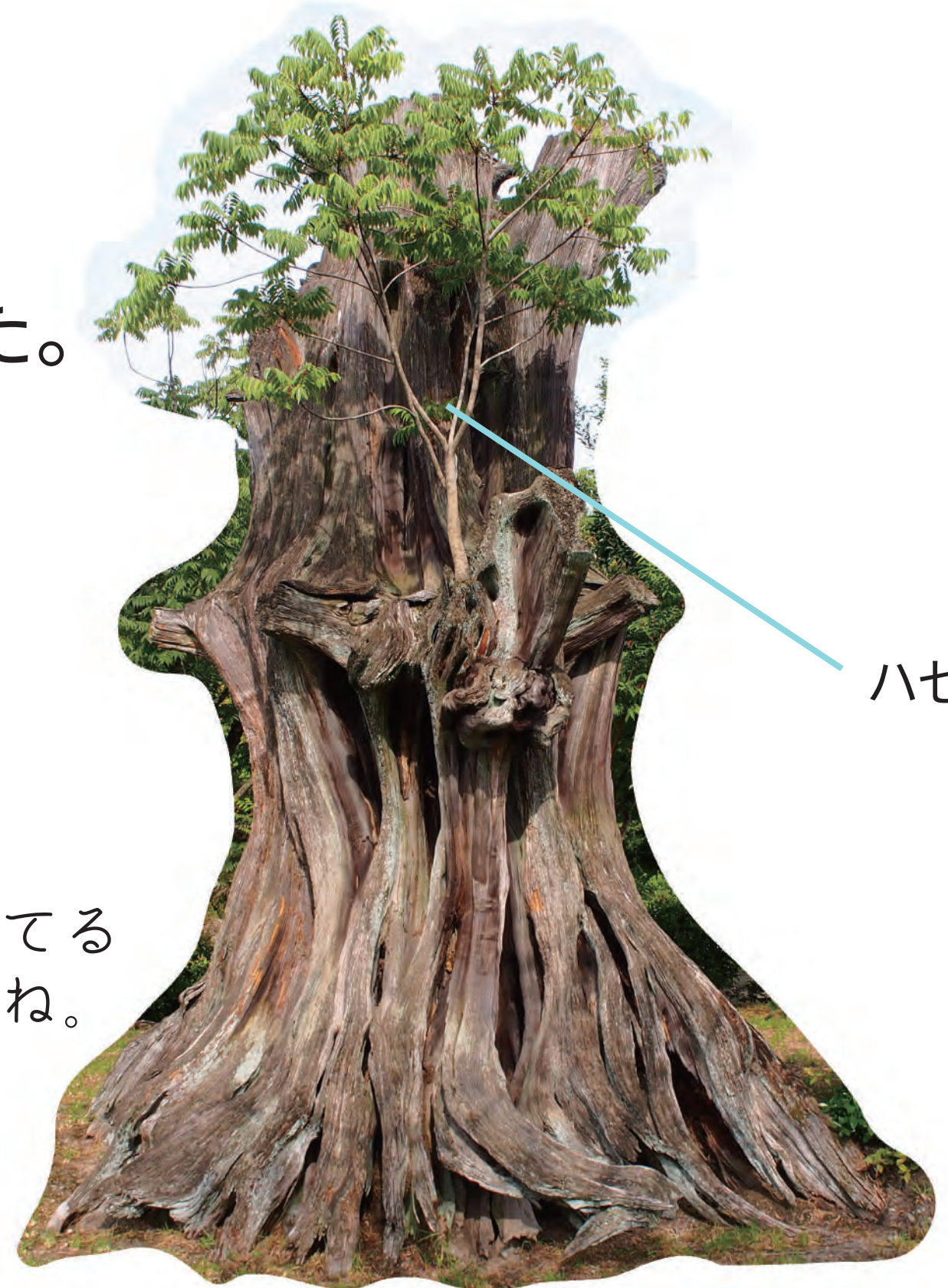
植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

ビャクシンの枯木が育むいのち

枯れたビャクシンの上で
ハゼノキが大きく育ってきました。

枯れてからも、新しいいのちを
育み、次の世代へと
繋ぐ役割を担っています。

まるでハゼノキを育てる
ゆりかごのようですね。



ハゼノキ



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

ミズアオイ発芽

平成 29 年（2017 年）の浚渫工事後、
2018 年に印月池で 13 年ぶりにミズアオイの
開花が確認されました。これは、池底の
土を掘り返したことで、土の中深くに
埋まっていた種子が地表近くに
移動したことが理由と
考えられます。

現在は別の場所で育てて種を
取り、印月池への自生を
めざして保全活動をしています。

